



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[3月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.4] 中央大学 人間総合理工学科 水代謝システム研究室准教授 山村寛氏を訪ねて～水の理想的な循環を目指して新たな膜技術開発にも取り組む～水道ネットワーク通信 有村源介 ◎[トピックス]ポリテック最新活動 初の名古屋講演会に200人参集 中島熊本市部長が地震対応を講演 石狩市・清野氏、更にパワーアップ◎平成29年度予算案における環境保全経費の概要について…環境省 ◎都市における浸水対策施設運用支援技術をガイドライン化～ICTを活用したリアルタイムの浸水予測により「i-Gesuido」を推進します～国土交通省 ◎官公庁施設整備における発注者のあり方について～公共建築工事の発注者の役割～(答申)…社会資本整備審議会 ◎バリアフリー法に基づくバリアフリー化の進捗状況について～公共交通事業者等からの公共交通移動等円滑化実績等報告書の集計結果概要(平成27年度末)…国土交通省 ◎住宅の断熱化と居住者の健康への影響に関する調査の中間報告～スマートウェルネス住宅等推進事業の調査の実施状況について～国土交通省 ◎[明日への道標]報われなかった陰徳～銀行王 安田善次郎の誤算～(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎空調配管用高性能ポリエチレン管(クワチオウハイパーCH)のご紹介…積水化学工業(株) 和田弘志 ◎[東京ブラリルポ]梅の開花を求めて～熱海と神代植物公園…(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎竣工設備データにみる建築設備配管の管種選定動向(第5回)…鋼管技術会議 南宗庵 ◎[トピックス]トイレプース工事で特別研修…(株)岡本 ◎[LaCoon]新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎マンション建築考-7- ヴィンテージマンションの考現学…三浦義幸 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所いでこうじ ◎建築着工統計[2016年12月]…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[4月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.5] 高知大学 教育研究部自然科学系農学部 水環境工学 教授 藤原拓氏を訪ねて～「コベネフィットで柔軟な技術」を用い地域に価値を～水道ネットワーク通信 有村源介 ◎[水ビジネスの今後の海外展開の方向性]を取りまとめました…経済産業省 ◎水道法の一部を改正する法律案の概要…厚生労働省 ◎熊本地震等からの復旧・復興工事を加速化～「復興係数」等の施工確保対策を新たに導入～国土交通省 ◎気候変動適応策を推進するための科学的知見と気候リスク情報に関する取組の方針について…環境省 ◎法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)…国土交通省 ◎処理水を循環する散水式水処理技術の導入ガイドライン策定～標準活性汚泥法による消費電力量を53%削減!～国土交通省 ◎日本初 下水道事業のコンセッション方式が事業開始に向けて大きく前進～浜松市がコンセッション方式の優先交渉権を決定～国土交通省 ◎中小企業の地球温暖化対策の実態を初めて調査し、集計結果をとりまとめました…経済産業省 ◎環境省花粉観測システム(愛称:はなごさんの稼働について…環境省 ◎[明日への道標]秘して語ることなかれ～ロスチャイルド家の掟～(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎建築配管用ポリエチレン管の製品概要と需要動向 スーパータフポリ…(株)クボタケミックス 江頭司 ◎[東京ブラリルポ]乃木坂から赤坂へ…(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎公共建築工事における塩ビライニング鋼管採用40周年を迎えて…配管システム研究会 南宗庵 ◎[トピックス]トイレプース工事で特別研修…(株)岡本 ◎[LaCoon]新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎マンション建築考-8- ヴィンテージマンションの考現学…三浦義幸 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所いでこうじ ◎建築着工統計(2017年1月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

トランプ大統領就任後のアメリカで1949年に出版されたイギリスの小説が爆発的に売れはじめた。旧ソ連の独裁者スターリンによる恐怖政治をSF化して警鐘を鳴らした『1984年』だ。作者のジョージ・オーウェルは豚や馬を人間に見立てた『動物農場』でも思想・信条・言論の自由が圧殺される監視社会を痛烈に風刺している。わたしは高校に入って最初の夏休み、カフカの『審判』やレイ・ブラッドベリの『華氏451度』と共に読んで暗澹たる近未来をきわめてリアルに感じた。

オーウェルがアメリカで魅ったのは偶然ではない。国家安全保障局(NSA)の元契約社員であるエドワード・スノーデンは2013年、テロ対策の名のもとにプリズムという監視システムが世界中の通話、メール、チャットなどを極秘に傍受していることを暴露した。反戦映画『プラトーン』でアカデミー賞を受賞したオリバー・ストーン監督の『スノーデン』は国家反逆罪などで刑事訴追された史上最大の内部告発の内幕に迫っている。

日本でも2人以上の会話で処罰できるテロ等準備罪法案が国会に提出された。実行行為がなければ犯罪は成立しないという近代刑法の原理原則が根底から覆されることになる。1925年に制定され、国体護持の名目で予防拘束を合法化した治安維持法をわたしは想起せざるをえない。

盗聴・尾行・密告が横行する監視社会の究極の目的は人々の自由な思考を奪いとることだ。支配者に疑念を抱いた『1984年』の主人公はもっとも重い<思考犯罪>によって処刑される。(高倉)

給排水・環境設備の総合誌

月刊「コア」第330号

平成29年5月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884